

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 372 号	氏名	川添 薫
学位審査委員	主 査	酒井 英樹	
	副 査	兼松 隆之	
	副 査	高橋 晴雄	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、転移のない表在性食道扁平上皮癌に対する光線力学的療法（PDT）の臨床的有用性、およびPDTと抗癌剤との併用効果を検討したものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 表在性扁平上皮癌 15 例を対象としてPDTを行い、内視鏡と生検で治療効果を判定するとともに、治療前後で血清活性酸素種（ROS）値を測定した。また、抗癌剤とPDTとの併用効果を、ヒト食道扁平上皮癌細胞株に対する50%阻害濃度（IC50）で評価したもので、研究手法として妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 PDTの初回治療で 11 例、再治療と併せて全例に完全寛解（CR）が得られ、良好な成績であった。CR 群では血清 ROS 値が治療前後で有意に上昇し、治療効果判定における有用性が示唆された。また、PDTとの併用で5-FuのIC50は著明に低下し、併用療法が抗癌剤の副作用低減に寄与する可能性が示唆された。今後の臨床応用への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は消化器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			